

相生デイ サビズ新聞

発行所
相生DS
44-4165



オゼコウホネ

願いの短冊揺れる

ささこのはさらさらう...
子供達の無邪気な歌声がきこえてきました。
目をやるとその小さな手で短冊を
かけていました。

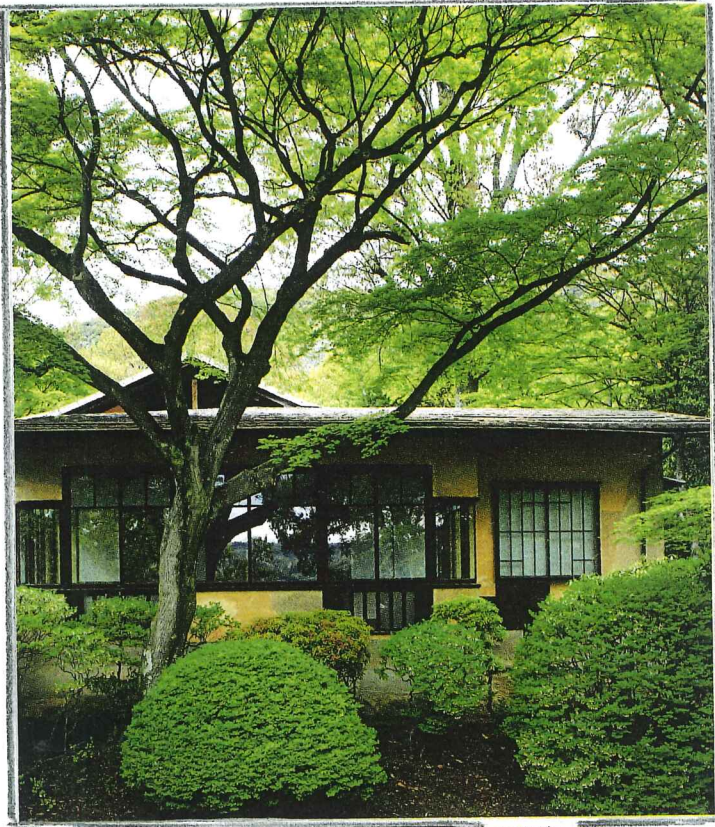
どんな願いだろう
か...

私もまたひとつの
願いを思いました。

名句

閑さや岩にしみ入蟬の声

松尾芭蕉



ちょうちくま
「聴竹居」(重要文化財)

梶の葉
が短冊の
由来。

今月の予定

| | | | |
|--------|--------|---------|-----|
| 23 | 20 | 16 | 13 |
| (火) | (土) | (火) | (土) |
| ※おやつ作り | つつじ華の会 | 春さと仲間たち | 藤美会 |

床屋
さん
1 (月)
10 (水)
18 (木)
26 (金)

ユーモアくらぶ

運命というものは...

女子寮が火事になた。

風呂に入っていたふたり

あわてて丸裸で外に飛

びだした。

ひとり

金持ちに見せめられ

ひとり

風邪をひいただけだった。

? 何と読む

甚平 ()

浴衣 ()

帷子 ()

合歡の花 ()

日光黄菅 ()

沙羅の花 ()

このポストに
投函すると幸せが
届くそうです。

七月は、
文の月。

このポストに
投函すると幸せが
届くそうです。

(くま川鉄道・おかどめ幸福駅)

風物詩



相馬野馬追 7月27日(土)~29日(月)

見つけた
黄色いポスト



旅情をさそう伊豆湯ヶ野橋

天声珍語

梅雨明けの
宣言とともに

夏の空が広が

つてきた。

こんな空を見

ていると、

また、

どこかに行きた

くなる。

若町に降りた。

海に向って歩く

古い宿がある。

いくつかの店

がある。

海の匂いが濃く

なってきた。

倉庫の白壁が

はがれている。

しやれた格子は

料理屋だろう

か。

海に出た。

夏の空と

夏の海。

ふたつの間に

砂粒にも満たな
い自分。
ここ、小浜は
若狭の海に息
づく静かな町
だった。
ススム
(15日は海の日)